

平成19年11月7日  
経済産業省  
原子力安全・保安院

## 関西電力(株)大飯発電所2号機の2次系主給水配管曲がり部の減肉について

原子力安全・保安院は、本日(平成19年11月7日)、関西電力(株)から、定期検査中の大飯発電所2号機(加圧水型軽水炉:定格電気出力117万5千キロワット)における、2次系主給水配管曲がり部の減肉について、以下のように報告を受けた。

### 1. 関西電力(株)からの報告内容

定期検査中の大飯発電所2号機において、2次系配管の肉厚測定を実施したところ、本日(平成19年11月7日)、4系統ある主給水配管のうち、1系統の主給水隔離弁下流にある配管曲がり部の実測最小肉厚が10.9mmであることが確認され、技術基準に基づいて計算された必要最小肉厚(15.7mm)を下回っていることを確認した。

このため、当該箇所については切断して、原因調査を実施する。

なお、当該系統以外の3系統の主給水隔離弁下流にある配管曲がり部については、必要最小肉厚を下回っているものは確認されなかった。

本事象に伴う、施設内及び周辺のモニタリングポストの指示値に異常はなく、本事象による周辺環境及び作業員への影響はない。

主給水隔離弁

事故時に蒸気発生器への給水を隔離する弁

### 2. 原子力安全・保安院の対応

本件は安全上重要な機器等が技術基準に適合していないと認められたことから、法令に基づく報告を受けたもの。

今後、法令に基づき事業者が行う原因究明及び再発防止策について、厳格に確認してまいりたい。

なお、現地の原子力保安検査官により敷地境界周辺のモニタリングポスト等の指示値に異常がないことを確認している。

(INESによる暫定評価)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

【問い合わせ先】

原子力安全・保安院

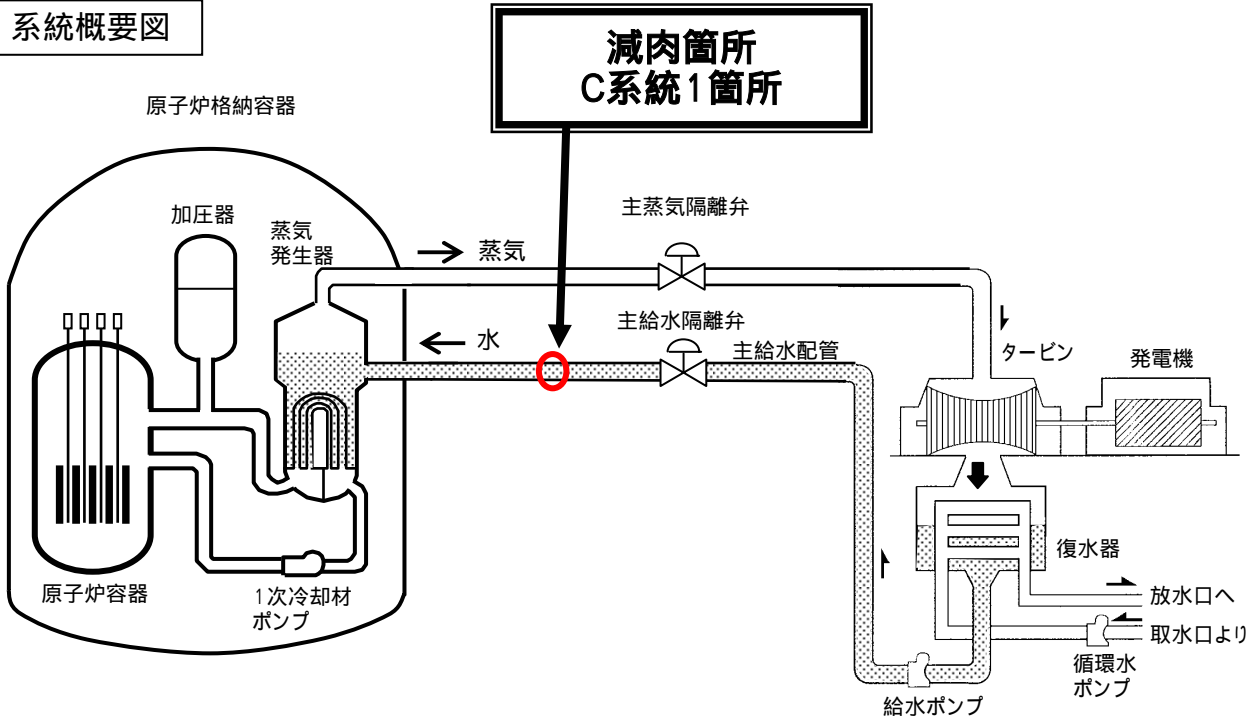
原子力防災課原子力事故故障対策室 森田、高須

電話: 03 - 3501 - 1511(内)4911

03 - 3501 - 1637

# 2次系主給水配管曲がり部の減肉について

## 系統概要図



## 測定結果

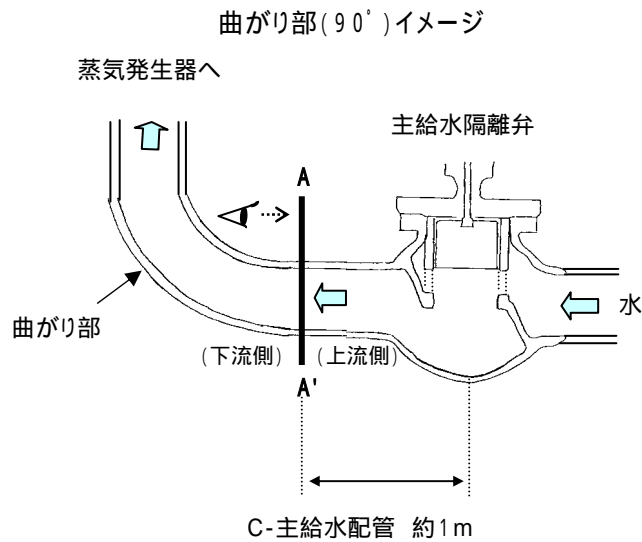
配管形状	必要最小厚さ	実測最小値
A-主給水配管曲がり部(45°)	15.7mm	21.0mm
B-主給水配管曲がり部(90°)		21.5mm
<b>C-主給水配管曲がり部(90°)</b>		<b>10.9mm</b>
D-主給水配管曲がり部(90°)		19.0mm

## 配管仕様

外 径	約406mm
厚 さ	約21mm
最高内圧	約8MPa
最高温度	約230
材 質	炭素鋼
流 量	約1,700t/h・ループ

定点測定(8点)にて減肉が確認された周辺を、詳細(約20mmピッチ)に測定した値

## C - 主給水配管曲がり部の減肉状況



## (C - 主給水配管曲がり部を下流側から見た断面)

